

卸売市場法の改正に伴う業務規定等の改正について

1 卸売市場法の改正経緯

- ・改正卸売市場法は平成 30 年 6 月に改正、令和 2 年 6 月 21 日に施行される。
- ・現行の卸売市場法は昭和 46 年に制定され、これまで大きな改正は行われなかったが、原則自由取引となっている市場外流通が多くなっている現状を踏まえ、改正法では市場流通に真に必要なものを残した法律となっており、現行法では 83 条あったが改正法では 19 条にスリム化された。

2 改正卸売市場法の概要（地方卸売市場関連）

- ・卸売市場が食品等の流通において、生鮮食料品等の公正な取引の場として重要な役割を果たしていることに鑑み、卸売市場の認定に関する措置等を講ずることを定める。
- ・卸売市場の業務の運営、施設等に関する基本的な事項を明らかにするため、卸売市場に関する基本方針を定める。
- ・都道府県知事は、生鮮食料品等の公正な取引の場として、差別的取扱いの禁止、売買取引の条件や結果の公表等の取引ルールを遵守し、適正かつ健全な運営を行うことができる卸売市場を、基本方針等に即して地方卸売市場として認定することとしている。

3 法改正による主な変更点と手続き

(1) 地方卸売市場の認定申請

現行法では卸売市場は国や県の許認可を受けて開設しているが、改正法では、許認可を受けずとも卸売市場の開設は可能とする一方、生鮮品の公正な取引な場として要件を満たす卸売市場を国や県が認定して、中央卸売市場、地方卸売市場の名称を使用することができため、地方卸売市場大船渡市魚市場と称するためには県への認定申請が必要。

(2) 卸売業者の決定権

現行法では卸売業者は岩手県条例による許可を受けているが、改正法では卸売業者の決定権が開設者に移り、県へ提出する認定申請書中に記載することとなるとともに、これまで県が行ってきた卸売業者の検査と同様に卸売業者の財務状況を定期的に確認することとなる。

(3) 地方卸売市場大船渡市魚市場条例及び業務規定の改正

法改正に伴い岩手県卸売市場条例は廃止となる予定であることから、岩手県条例に基づく規定となっている地方卸売市場大船渡市魚市場条例及び業務規定（以下、市条例等）について改正が必要となるほか、業務規定では売買取引の原則等の取引参加者の遵守事項等を規定する必要。

4 今後のスケジュール

令和元年 9～12 月	市条例等の改正内容の検討
令和 2 年 3 月	市議会に条例改正を上程
令和 2 年 4 月	岩手県へ地方卸売市場の認定申請
令和 2 年 6 月	改正卸売市場法施行、市条例・業務規定の改正